

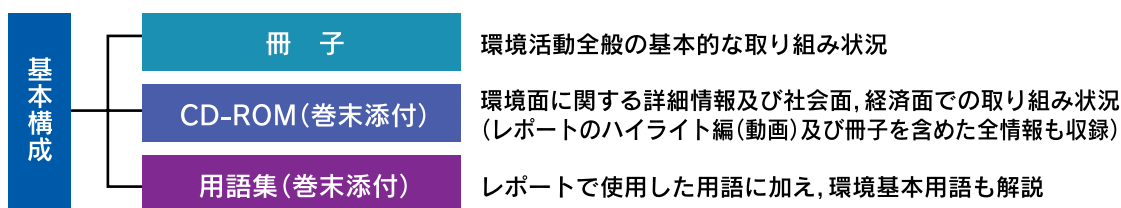
編集方針

九州電力は、企業活動に伴い発生する環境影響とその低減への取り組み状況を多くの方々に知っていただくことが、企業としての社会的責任であり、環境活動を推進する上でも重要であると考え、1996年より、環境活動への取り組み状況を環境アクションレポートとして公表しています。

◇特徴

効果的な環境情報の提供を目指して

このレポートは、持続可能性報告書としてもお使いいただけるよう、「環境活動に関する情報」に加え、「社会面（労働安全衛生等）」、「経済面（事業概況等）」に関する情報も充実・記載しています。また、様々なステークホルダーの方々が必要とされる情報を入手しやすいレポートとなるよう心掛け、次のような構成としています。



- CD-ROM掲載情報は、読者の方々の利便性向上を目的として、「電子ブック」化しています。
 - ・「電子ブック」化により、CD-ROM掲載の電子データを冊子感覚で閲覧することができます。
 - ・また、レポートのハイライト編を動画にて編集・収録しています。
- 用語集は、冊子から切り離して活用できるよう、Book in Book 方式としています。
- なお、当社ホームページには、「CD-ROM」(ハイライト編の動画除く)、「用語集」を含むすべての情報を掲載しています。

< http://www.kyuden.co.jp/environment_booklet_index >

レポートの信頼性向上

レポートの記載内容の客観的な信頼性を確保するために、自主的に「第三者機関^{*}による審査」において、「記載データと基礎資料のチェック」を行っています。

さらに、「環境報告書審査基準案」〔環境省〕に定められている重要な環境情報は、本基準案を参考にした審査を受審しています。

マークの
説明



「環境報告書審査基準案」
を参考として審査した
重要な環境情報

^{*}：監査法人トーマツの環境部門の分社化組織である、株式会社トーマツ環境品質研究所が実施。

◇報告範囲

| | |
|------|--|
| 対象期間 | 2004年4月1日～2005年3月31日 (一部将来の活動予定を含んでいます。また、本レポート発行までの最新情報についても、重要な事項は可能な範囲で記載しています。) |
| 対象組織 | 九州電力及び九州電力グループ会社 |
| 対象分野 | 環境面、社会面、経済面 |

◇参考としたガイドライン

環境報告書作成基準案〔環境省〕

環境報告書ガイドライン(2003年度版)〔環境省〕

ステークホルダー重視による環境レポートガイドライン2001〔経済産業省〕

持続可能性報告ガイドライン2002〔Global Reporting Initiative〕

◇発行時期

前回：2004年6月30日

次回：2006年6月頃を予定しています。

◇作成部署・お問い合わせ先

九州電力株式会社 環境部環境経営グループ

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号

TEL:092-726-1531 FAX:092-761-7368